

群馬県利根郡みなかみ町 MINAKAMI DIET NEWS

みなかみ議会だより

9月定例議会

23年度補正 7億円補正のうち3.5億円は基金 2~3

決算認定.....**4~5**

一般質問 国保税の見直しは... 7~13

25号

平成23年(2011年)
11月1日発行

一般会計 7億7651万円を増額

項目	補正額	主な内容	総額
一般会計	7億7651万円	新設基金(3頁参照)／3億5000万円 民生費(障害者自立支援給付費など)／2633万円 農林水産業費(小規模土地改良事業など)／3805万円 商工費(川手山バンガロー等撤去工事など)／△2339万円 土木費(道路橋梁費など)／1億6720万円 消防費(公務災害補償負担金など)／3554万円 教育費(名胡桃城址用地購入など)／1億2406万円 地方交付税(普通交付税)／4億5401万円 歳入 国庫支出金(道整備交付金など)／5157万円 県支出金(小規模土地改良事業など)／2397万円 繰越金(H22年度より)／1億8831万円 町債(過疎対策事業債など)／4850万円	133億2377万円
特別会計	国民健康保険	歳出 諸支出金(平成22年度返還金)／2474万円 歳入 繰越金(H22年度より)／2474万円	28億8374万円
	介護保険	歳出 基金積立金／3048万円 など 歳入 繰越金(H22年度より)／3790万円	19億2490万円
	下水道事業	歳出 下水道事業費(公共下水道費など)／2408万円 歳入 繰越金(H22年度より)／4242万円 繰入金(H22年度より)／△280万円など	10億3218万円
	温泉事業	歳出 温泉事業費(温泉引込管移設工事)／150万円 歳入 繰越金(H22年度より)／150万円	3850万円

(全会一致可決)

みなさんからの 請願・陳情 審査結果一覧

No.	受理年月日	件名	提出者	付託委員会	審議結果	
請願	6	23. 7.27	みなかみ町における「町づくり」のビジョンとしての請願について	大穴514-1 竹内 功 ほか28人	厚生	不採択
	7	23. 8.19	町道稗田線の狭隘部拡幅と雨水排水の処理について	後閑 後閑区長 渋谷 譲	産業観光	採択
陳情	4	23. 8.29	浄化槽の管理及び汚泥の有効利用についての陳情	上津2005-1 高橋 貞雄	厚生	不採択



●表紙写真／紅葉の平標山(平標山山頂方面を望む)
提供…山口正勝さん

もくじ

9月定例会	2
一般質問	7
追跡記事	14
議会の動き	15
町民ひろば	16

23年度補正予算

基金創設

まちづくりのさきがけに、
3つの基金が設けられました。

公共施設管理基金

一般会計／総務費2億円

公共施設の取り壊しや修繕、良好な管理運営に必要な一般財源を確保しようとするものです。

スポーツ・健康 まちづくり振興基金

一般会計／総務費5,000万円

スポーツと健康をテーマとしたまちづくりを、企業との共同により推進していくための財源を、安定的に確保するものです。

有害鳥獣対策基金

一般会計／農林水産業費1億円

有害鳥獣被害の軽減により効果的な対策を講ずるため、人的・財政的な強化を図り、住民や来訪者が安心して活動できる環境を提供し、安心して地域農業に取り組める環境の構築を目指すものです。

報告

● 会社の経営状況

◇(株)水の故郷 ◇(株)月夜野振興公社 ◇(株)猿ヶ京温泉夢未来 ◇月夜野クラフトビール(株)

● 平成22年度決算に基づく健全化判断比率※1・資金不足比率※2

※1 健全化判断比率

自治体財政の健全化を示す指標で、数値が大きいほど財政状況は悪いとされる。みなかみ町は基準を下回っている。

※2 資金不足比率

公営企業会計で、営業収益に対する手持ち資金の不足額の割合。みなかみ町は資金不足を生じていないため該当無し。

専決処分承認

● 平成23年度一般会計補正予算(第3号)

● 平成23年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)

(すべて全会一致承認)

その他議案

● 町公平委員の選任について

次の人を推薦しました。 とみざわ 富澤 ゆたか 豊さん(羽場) (全会一致可決)

● 町教育委員会委員の任命について

次の人を推薦しました。 あべ 阿部 つよし 剛さん(湯松曾) (全会一致可決)

● (発議) 議員派遣の件について

● 町後閑駅前駐車場の設置及び管理に関する条例

● 社会資本整備総合交付金事業

町道悪戸関口線関口橋橋梁整備工事(上部工) 請負契約の締結

● 平成23年度補正予算

◇一般会計(第4号) ◇国民健康保険特別会計(第1号) ◇介護保険特別会計(第1号)

◇下水道事業特別会計(第2号) ◇温泉事業特別会計(第1号)

(すべて全会一致可決)

平成22年度

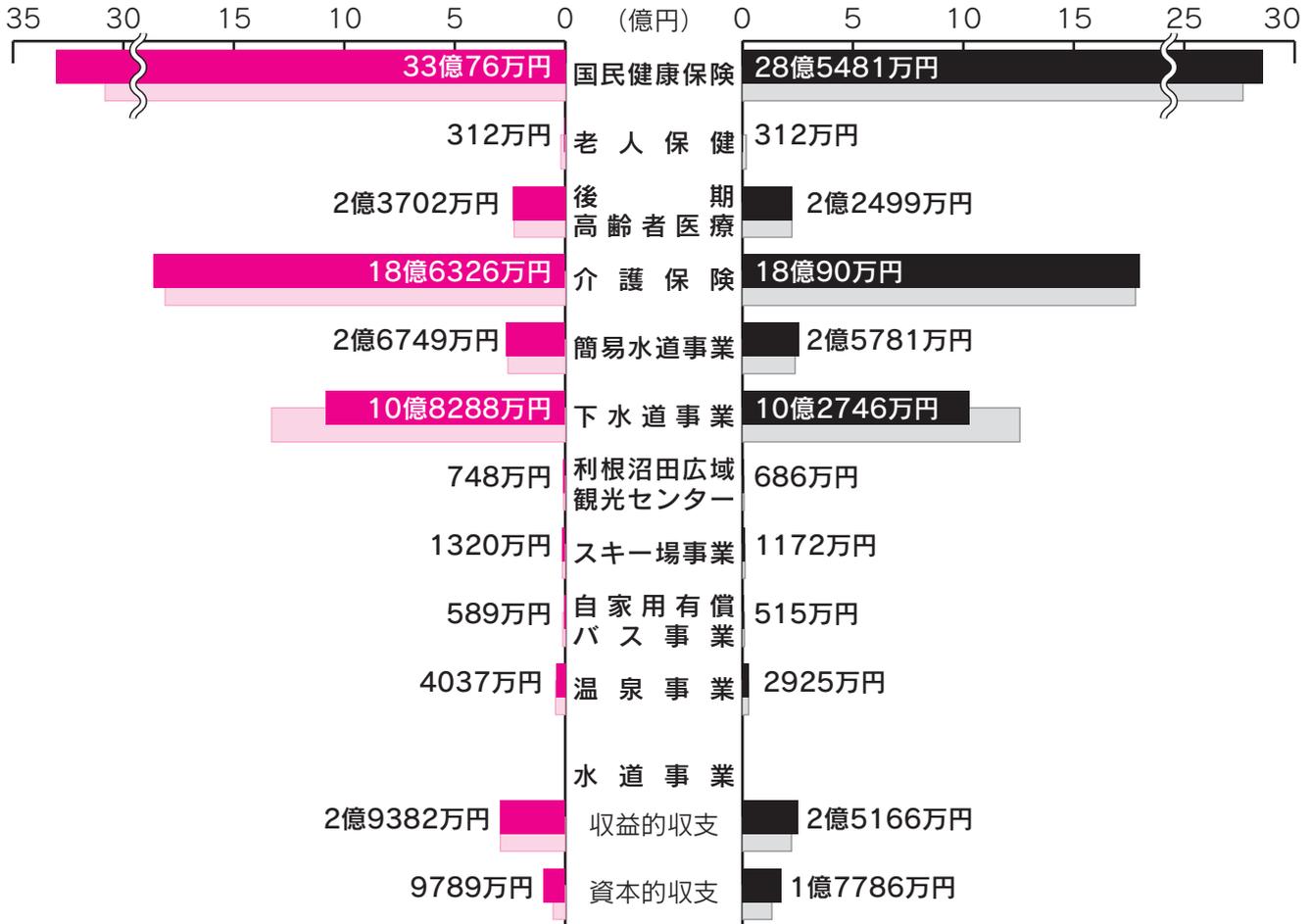
平成23年7月28日～8月12日にわたって行われた決算審査を踏まえ、代表監査委員の渋谷正誼氏から審査結果の報告がなされ、全て認定となりました。

グラフ凡例

歳入	歳出
22年度	22年度
21年度	21年度

※金額は四捨五入のため、合計と一致しない場合があります。

特別会計決算状況



決算討論

◇一般会計

反対

原澤良輝議員

水上中学校建設、子ども手当、保育料の軽減などは評価できませんが、廃止すべき後期高齢者医療に予算をつけ、保育土や給食費を外部に委託する一方、出産祝金が削減されました。また、町の負担金の二八%が計上されています。

賛成

前田善成議員

DCキャンペーンのため、のさまざまな予算や、初めて農家の方がリサイクルセンターの運営を行うための費用など、町全体の方角が示され、生活に必要な事業費、教育費が予算化されています。

(賛成十五 反対二 認定)

◇国民健康保険特別会計

反対

原澤良輝議員

国保税を値上げしないと不足が生じるということでしたが、実際は三方年計画の二年目で六億七二七五万円の剰余がある状態です。事情が大きく変わりました。計画を一年前倒しして見直すべきです。

賛成

山田庄一議員

保険給付費が四年間の平均で一七億五〇〇〇万円の支出がある中で、税収が八億円弱であることや未収金累計が二億円余ること、加入者がこの二年間でおよそ三五〇人減少しているなど、今後とも国保運営は大変厳しいと思います。国保の現状を正しく伝えるとともに、今後も安定した運営に一層の努力をお願いするものです。

(賛成十五 反対二 認定)

◇後期高齢者医療特別会計

反対

原澤良輝議員

保険料値上げなしの後期高齢者だけの医療制度の運用は、非常に難しいです。公約どおり直ちにこれを廃止して、安定的な国民皆保険制度を確立するべきです。

賛成

小林 洋議員

町として保険料の収納を適切に行い、確実に広域連合に納付することで安定した財政運営につながります。広域連合が主体になり医療費を給付することで、市町村にとってはスケールメリットがあります。

(賛成十六 反対一 認定)

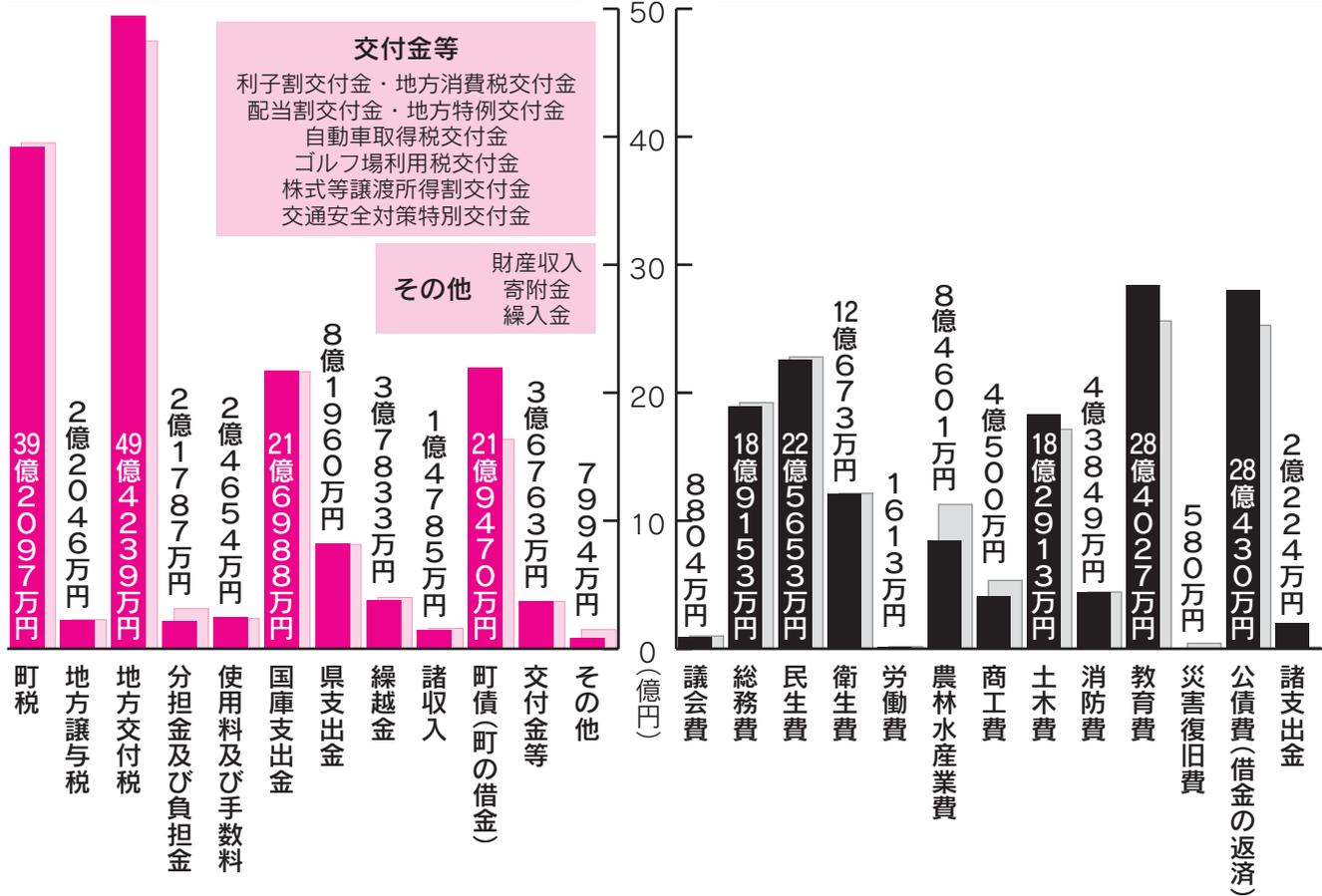
認定

決算概要

一般会計決算状況

歳入総額 **157億617万円**

歳出総額 **148億3019万円**



- 反対** 原澤良輝議員

平成二十一年度に保険料が引き上げられました。介護認定が厳しくなり、介護保険あって介護なしと言われる状態は改善されませんが、制度の改善や国・県の助成を増やすよう要求します。
- 賛成** 阿部賢一議員

介護サービスの給付はもとより、保険料の賦課、介護認定事業などが適切に運営され、一般会計からの繰入金も最小限にとどめる努力が図られていることは評価できます。

(賛成十六 反対一 認定)
- 反対** 島崎栄一議員

湯宿・池ノ原の水道を編入したときの加入金が含まれていません。

町の条例の中で、編入時に加入金を取る規定はなく、あいまいなまま取るのは認められません。
- 賛成** 林一彦議員

前年度と比べ料金収入・収納率の低下となりましたが、経営の透明化・健全化を進め、老朽化した施設の整備を促進していくための会計統合です。
- 水道事業会計**

反対 原澤良輝議員

利率の高い借金を繰り上げ返還した努力は評価できますが、減価償却費が資本的収支の補てんに流用されており、老朽化しても必要な再建資金がありません。未収金は七四五万円あります。企業会計として運営するには無理があります。

賛成 中島信義議員

先般の異常気象等による水質の悪化や施設の老朽化等による水道災害での断水等をなくすため、水道施設監視システムの設置や石綿管の布設がえ等を行い、ライフラインの確保と充実を図っています。

(賛成十六 反対一 認定)
- 老人保健特別会計**

下水道事業特別会計

利根沼田広域観光センター特別会計

スキー場事業特別会計

自家用有償バス事業特別会計

温泉事業特別会計

(全会一致認定)

産業観光常任委員会 委員長報告

委員長 河合生博

8/10 7月豪雨(28~31日)による町内の被災状況



土砂崩れの現場(宝川)

水紀行館前の親水公園の護岸背後地が洗掘され、擬木柵等の流出もありました。来訪者が多いため、早急に復旧が必要と思われ

ます。宝川線の汪泉閣から約七〇〇m上流の民有林が崩壊し、約二万㎡に及ぶ土砂が併用林道と宝川を覆い堆積していました。今後、県の環境森林部において地滑り調査を行い、復旧工法等検討し、調査に概ね三〜四ヶ月の期間を要するとの話でした。

なお、河川は一級河川であるため、土木事務所にて、河川内に散在する流木の除去や河川の河道の確保を早急に行うとのことでした。

明川地区の水路は、構造上の問題もあり豪雨時に町道舗装を洗掘し、その先の県道水上片品線の法面を崩落させ被害となったものです。

町道大滝沢一畝田線、新一畝田橋付帯構造物は、下部の擁壁とブロック積の背面の土砂に多量の水が吸収され、背面

産業観光常任委員会

9/20-22 台風15号により被災した6箇所の現地視察

台風15号の被災箇所(新治地区)

※印は今回の視察箇所



土庄に下部擁壁が耐えられなくなり崩壊したものと恐れ、復旧方法については検討中であるとのことでした。

害を受けずに済んだというので、ダムの実たす役割の重要性を認識しました。

今回の豪雨は、藤原ダム管理事務所長の川村所長によると、矢木沢ダム上流域において七十二時間雨量が六三・一ミリとなるなど、矢木沢、奈良俣両ダム管理開始以来最大の流入量を記録したとのこと。

調整の結果、今回ぎりぎりところで甚大な被害

高日向町営住宅前河川被災箇所の視察をしたとき、ダムがなかったら、崩壊したら、どうなっているのだろうと、想像したら身震いをいたしました。

今後出来る限り災害前の防災施設の整備を促し、安心安全な町作りを推進していかなくてはと、心から思いました。

総務文教常任委員会

10/5 水上中学校 校舎視察



塩原地区の白虎沢、ブロック積上部山側法面の崩落。県道中之条湯河原線須川川に架かる瀧見橋脇右岸下流側崩落。町道青石恋越線、現在一般車両は通行止。恋越の細田地区、道路法面が大きく崩落。谷地の細尾地区は、傾斜地に一〇枚ほどの田が

連なっている場所であるため、山側からの大水により全ての田の畦畔が部分的に崩落。相俣の工貫地区では、田の畦畔が大きく崩落。いずれも早急の復旧が望まれ、このうち国の災害復旧事業の申請に向けて事務を進めているものは三方所との事でした。

耐震強化や太陽光発電設備等を取り付けた水上中学校の校舎内部を見学しました。

校舎内は、LED照明や蓄熱式暖房機、バリアフリーの仕様をとりいれ、明るく広々と子供たちの学習に適した施設でした。

校舎と屋内運動場が一体となっており、今後はより充実した学校生活ならびに地域に結びついた施設になることと思われました。

6人が質問を行いました。

主な内容

- **林 一彦** ①7月26日付 上毛新聞掲載の「原発・使用済み核燃料など最終処分場の立地を求められた場合の対応」の真意について
- **阿部 賢一** ①臨時雇用（緊急雇用対策事業等）とその後の対応について
- **島崎 栄一** ①来年度の国民健康保険税について
②健康な人に対する奨励について
- **高橋 市郎** ①小中学校の不登校といじめについて
②町有の遊休施設の利用と契約について
③指定管理制度について
④町税及び公共料金の滞納について
- **原澤 良輝** ①原子力発電所と使用済み核燃料の最終処分場を受け入れることを拒否することについて
②国民健康保険料を引き下げることにについて
- **前田 善成** ①みなかみ町の税負担について
②体育施設の施設運営について

阿部
賢一
議員



臨時雇用事業 終了後の雇用対策は

町長 基金の弾力的運用を県に望みたい



臨時雇用事業として行われた除草作業

問 臨時雇用事業が今年度末で廃止になった後の対応を、どのように考えていますか。

答 **町長** 現在、三つの臨時雇用事業のうち「重点分野雇用創出事業」については、県の基金が残っている範囲で継続できるのではないかと思います。

他の二つが廃止になると、町民の雇用の確保が難しくなります。地方の実態に沿った弾力的かつ機動的な基金運用が可能となるような制度への再構築を、県へ強く要望していきたい。

問 民間企業も厳しい状況にあります。是非、町長の立場で地方の実態を訴えていただけますか。

答 **町長** 雇用機会の減少という認識で、国で始めたわけですが、状況は変わっていません。いろいろな機会に引き続き伝えていきたい。

問 今回補正の「公共の基金」二億円の運用について教えてください。

答 **町長** 施設を壊すとき、何らかの事業を使ったときの裏負担を計上しておこうではないかというのが本旨です。適正な施設管理について活用する予算規模は、今のところ想定していません。

基金、あるいは他の予算も考え、適切な管理ができるようさらに検討していきたいと思っています。

問 雇用の確保を含め、施設管理が必要であるということは、町長も十分認識をもって頂いていると思います。

限りなく今までの体制に近い形で継続をお願いしたい。

答 **町長** いろいろ制限のある制度ですが、雇用の面でも相当期待されているという地域の状況はよく分かっています。

雇用をできる限り多く確保できるように、検討していきたい。



島崎 栄一 議員

国保税の見直しは 引き下げを行うべき

町長 状況勘案し議論が必要

問 この二十年、日本人の所得は、横ばいまたは下降し、暮らしが苦しくなっている人が増えている気がします。税金は、高齢者控除も恒久減税も無くなり、じわじわと負担が増えています。固定資産税も平成六年に国の指示に変更が

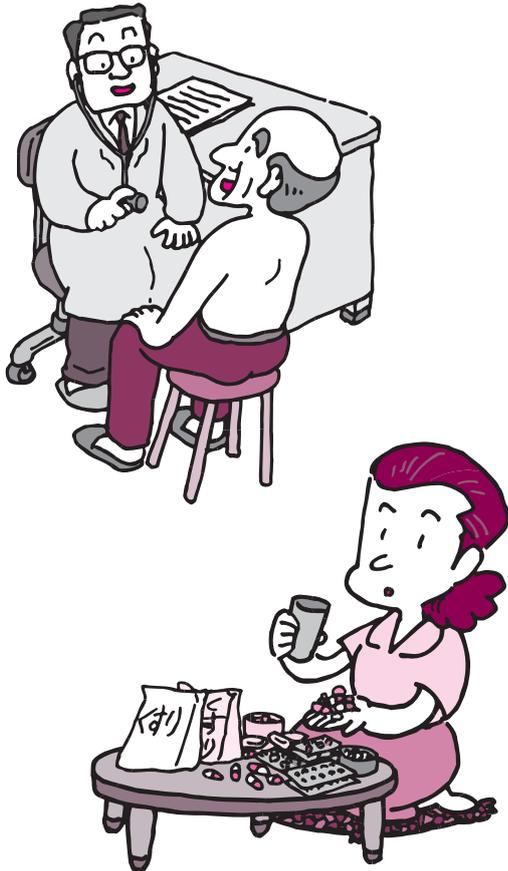
あり、この十五年間、上がり続けてきました。大部分の税金は、国の法律で決められ、地方自治体独自に引き下げするのは、ほとんど不可能です。そういったなか、国民健康保険税は町が決められる数少ない税金ですが、二年前二八%値上げされ、

非常に負担が重くなったと感じている人たちがたくさんいます。町民の生活を考えると、国民健康保険税を引き下げれば町民に喜ばれます。保険税をもし一五%値下げしたとしても基金は増え、今の状況で言えば

毎年三億円の黒字になっています。医療費もそれほど上がらず、国の交付金も予定していたものより二億円ほど多かったようです。はっきり言って「うれしい誤算」と言えるでしょう。

町民が納める保険税の総額は七億五〇〇〇万円ほどですから、もし一五%値下げしたとしても、基金は毎年増えていく状況です。国保税を引き下げ、町民を助けるべきだと思いますが、町長の考えは。

答 町長 基金が平成二十年度はほぼゼロでしたが、今は基金もあるということですので、その辺りを総合的に勘案して税率について幅広くご議論願ひ、その後決定していきたいと思っています。



健康増進への特典 健康な町民には商品券進呈しては

問 国民健康保険税をまじめに毎年納めている上に、健康であり医療費を使わない人たちに、町内で使える商品券をプレゼントしてはどうでしょうか。

答 町長 商品券をあてるといふのは、この場合適切ではないと思っています。町民の健康維持については、各種の施策で展開していきます。

高橋
市郎
議員



町内の小中学校で いじめや不登校の現況は

教育長 不登校が微増、連携で解決へ



みんなが希望を持って学べる環境を目指して

問 町の小中学校における、不登校といじめの現状と対策については。

答 **教育長** 不登校児童生徒の割合は1%で、やや増加傾向にあります。不登校ゼロを目標に「適応指導教室」を開設し、学習支援や相談に当たっています。県や町の負担の先生方のマンパワーを生かしての対策と対応をしています。

また、いじめの問題への取り組みの基本は、早期発見・早期対応の実態把握です。適切な対応はもちろん、学校のみでなく関係者の連携を図り、解決に努めています。

■町有の遊休施設
民間の利用はどのような契約か

問 町有の遊休施設について、民間の利用がありますが、その契約はどのようなになっていますか。

答 **町長** 公益性と収益性を考慮し、同一条件で継続して利用して頂くことが原則であり、問題がない限り途中で打ち切ることはありません。

■税の滞納
現状と今後の対策は

問 町税及び公共料金の滞納額が増加傾向にあるようですが、現状と対策については。

答 **町長** 滞納整理室を中心に頑張ってくれていますが、職員だけが苦労することの無いように、配慮しながら進めていくように気をつけたい。

みなかみ町の納税滞納額



■指定管理者制度
問題点どのように見直すか

問 昨年遊神館が、年度途中において客数の減少による赤字を理由に指定管理から町直営となりましたが、指定管理の問題点の見直しをどのように検討されていますか。

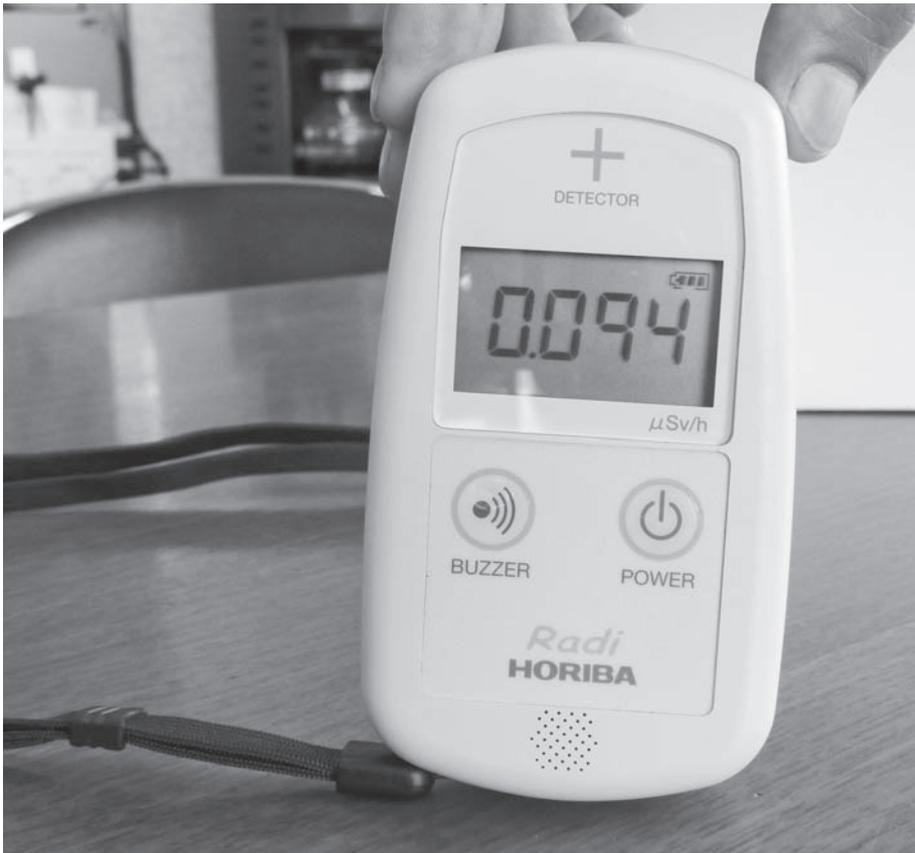
答 **町長** 指定管理選定委員会に、事前の指定管理のあり方についても早く相談したい。議会にも早い機会に説明したいと思っています。



原澤 良輝 議員

原発関連施設の 受け入れ撤回すべき

町長 誘致する気持ちはない



放射線量の測定を行う機器（ガイガーカウンター）

問 福島原発事故では広島原爆の一六八倍のセシウム一三七が放出され、現在も続いています。利根沼田でも放射性汚染が問題になっています。

中国は上海近くに大規模な原発を稼働させ、一〇〇基にする計画です。原発事故で偏西風によって放射能が日本全土を覆います。

原発は「トイレなきマンション」状態で未完成な技術で、地震・津波大國の日本で海岸に原発を作るのは無謀です。原発に町民が不安を感じても不思議ではありません。

町長は二万三千人の命

■国民健康保険税

問 剰余金出ており引き下げ行うべき

値上げして二年間で六億七千万円の剰余金がありました。基金に二億二千万円を積立ても、四億五千万円の繰越金です。このままでは二十三年度も大幅赤字です。

答 町長 この問題は昨年度末から議論しています。

現実的に剰余金が出ていることは認めます。国保税の算定には、繰越金・基金、医療費の動向、加入者の年齢構成の変化など、新しい知見についても十分入れて検討したい。

を守る使命があります。町民がふるさとに居られなくなるような原発などの受け入れは撤回して下さい。

答 町長 首都圏三〇〇〇万人の生活と命と産業を支える水という点で、原発・核燃料最

終処分場の受入れ責務は、国民的立場の役割分担としてもその必要はないと思っています。

もちろん、積極的に誘致するという気持ちはもともとありませんし、まったくそのような動きもしていません。

前田
善成
議員



町税について これからの方向は

町長 過疎債活用で社会整備や企業誘致



道路などの社会資本整備に税が活用されている（矢瀬蟹杵工業団地）

問 町の税は収入なのでその方向性や展望について伺います。

答 **町長** 税額を上げるのが町運営の目的ではありません。

課税したものはしっかりと納めて頂くことが大事。過疎債を活用し、社会資本整備・企業誘致を展開していきます。

問 本来は他地区より積雪寒冷地補助などで安いはずの固定資産が高いと感じる原因と対策を聞きます。

答 **町長** どの地域も、固定資産評価額の七割を課税基準値にし、平準化してきました。

問 誘致した企業の雇用は、投資に見合わないので財政面での協力を、また地元企業にも進出企業と同様な税優遇措置の考えはあるのでしょうか。

答 **町長** 基本的には、新たな投資を相当額やっていただくという方向で働きかけたい。条例に基づく優遇措置があるので、活用するよう働きかけたい。

■町内の運動施設 観光利用も視野に制度など整備を



人工芝が整備されたグラウンド

問 合併時、疎まれていた運動施設が震災以降、サッカーなど多くの運動関係の注目を浴び、観光客誘致の目玉になっていきます。この事を利用し、施設の修繕、スケジュール管理の利用方法や利用料金の一元化の考えや、施設利用での観光客誘致や運動関係者に対するPRについて伺います。

答 **町長** 公共施設運営検討の報告書に基づいて統合整理を進めていきます。すべての体育施設の一元管理は難しい。PRは教育旅行や宿泊地などDCも絡めて、相当強力で展開してきました。

追跡

復活 中学生海外派遣事業

「中学生海外派遣事業」が、町村合併後、初めて実施されました。以前より復活を求められていたこの事業は(参考)「議会だより22号(2011.11.1発行)」「一般質問」生徒の国際的視野を広げるとともに、海外での異文化を体験し理解すること、現地の人々との友好を深め、国際交流と次代の担い手の育成を図ることを目的として実施されております。今回のみなかみ町立中学校二年生を対象に実施した様子を紹介します。

生徒たちは、訪問先の中国・ベトナムの学習勉強会や会話指導等で事前の下準備をし、八月三日から八月九日までの七日間にわたり、生徒十三名、随員五名の合計十八名で参加してくれました。実際の訪問では、まずベトナム・ハノイにあ

る「チルドレンズパレス」で、日本のジャイカ職員が在籍している館長さんを始め現地の六歳から十五歳までの子どもたちに歓迎行事で出迎えていただきました。お互いの国の文化交流や質問タイムを設けるなど二時間の

交流では、とても時間が足りない状況でした。中国訪問では、昨年の九月に中国、珠海市にある「聯合国際学院」とみなかみ町は友好協定を結んでおり、大学内の学生寮に宿泊する中で、夏季休業中ではありましたが、特別に「英語授業」を受講させていた

催するなど、自校を代表して参加できたことを心から喜んでいました。ベトナムでのオートバイの多さと一台のオートバイに三人・四人乗りは当たり前前の状況に驚き、特に日本の有名企業の工場



歓迎会の様子
(チルドレンズパレス、二点とも)

が、特別に「英語授業」を受講させていたいただきました。また、大学内のクラブ活動風景や構内を見学するなど大学生との交流も行いました。帰国後は、各校で参加した生徒の報告会を開

いた。今回の海外派遣事業では、実施までの準備期間が短くハードスケジュールではありましたが、生徒の喜ぶ声を聞き、次年度も引き続き実施し、多くの生徒が参加できるように心がけていきたいと考えております。

インフォメーション

'11~'12 スキー場オープン情報

スキー場名	オープン
① ノルン水上スキー場	12/17(土)
② ホワイトバレースキー場	12/22(木)
③ 大穴スキー場	12/23(金)
④ 谷川岳天神平スキー場	11/21(日)
⑤ 奥利根スノーパークスキー場	12/17(土)
⑥ 水上宝台樹スキー場	12/17(土)
⑦ 水上藤原スキー場	12/17(土)
⑧ 水上高原スキー場	12/23(金)
⑨ 赤沢スキー場	12/25(日)※
⑩ 鹿の沢スキー場	12月中旬

※雪の状況により延期となる事があります

間もなく冬将軍到来の季節。みなかみ町の個性豊かなスキー場のオープン情報をお知らせします。



議会の動き

*平成23年8月～10月

※議会議員および議長が出席した行事

8月	1(月)	武尊神社大祭
	2(火)	国道291号整備促進期成同盟会総会 (中央公民館)
	3(水)	全国川サミットin長岡
	4(木)	群馬県知事来庁(～5)
	5(金)	渋川下新田線工事促進期成同盟会総会(高山村) アウトドアスポーツ団体懇談会(観光センター) 区長会
	7(日)	新治音楽協会発表会(まんてん星の湯)
	8(月)	工場設置奨励審議会(観光センター)
	9(火)	学校組合議会協議会定例会(利根商)
	10(水)	産業観光常任委災害視察
	13(土)	取手花火大会
	15(月)	群馬県戦没者追悼式(県スポーツセンター)
	16(火)	みなかみ祭り(月夜野中)
	24(水)	後期高齢者医療広域連合(グリーンドーム)
	25(木)	おいで祭代表者会議(水上公民館) 小口融資審査会 日中弓道協会5周年記念祝賀会 (シャウ猿ヶ京)

9月	1(木)	議会運営委員会
	3(土)	おいで祭り(～4)
	7(水)	第5回みなかみ町議会9月定例会(開会日) 町ゲートボール協会秋季大会(月夜野GB)
	8(木)	第5回みなかみ町議会9月定例会(一般質問)
	9(金)	第5回みなかみ町議会9月定例会 町内小中学校・保育園運動会 (水上小、藤原小/中、第三保育園)
	10(土)	町内小学校・幼稚園運動会 (古馬牧小、桃野小、新治小、月夜野北小/幼稚園)
	12(月)	第5回みなかみ町議会9月定例会
	13(火)	第5回みなかみ町議会9月定例会 福祉パレード
	14(水)	第5回みなかみ町議会9月定例会
	15(木)	第5回みなかみ町議会9月定例会 月夜野グランドゴルフ協会秋季大会(ホッケー場)

9月	16(金)	第5回みなかみ町議会9月定例会(閉会日)
	17(土)	体育祭(月夜野中、水上中、新治中)
	19(月)	高橋清志旭日単光章受章祝賀会(辰巳館)
	21(水)	わかくりこども園運動会
	24(土)	町内こども園・保育園運動会 (にいほるこども園、月夜野保育園/下牧分園)

10月	2(日)	消防団秋季点検(総合グラウンドサッカー場) 谷川岳慰霊祭 昭和の秋まつり 村主神社秋季大祭
	3(月)	利根地方総合開発協議会陳情行動日
	4(火)	利根郡町村議会議長会議員研修会 (～5、水上館) 議会だより編集特別委員会
	5(水)	総務文教常任委員会視察
	6(木)	戦没者慰霊祭(カルチャーセンター)
	7(金)	町ゲートボール大会(月夜野GB)
	11(火)	宮城県女川町表敬訪問
	14(金)	広域定例議員協議会
	15(土)	全国地域安全運動利根沼田地区大会 (カルチャーセンター)
	16(日)	福祉ふれあいフェスティバル(保健福祉センター) 世田谷・川場縁組協定三十周年記念式典 (川場村)
	17(月)	三国トンネル期成同盟会
	18(火)	議会だより編集特別委員会 老連スマイルボーリング大会(総合体育館)
	19(水)	埼玉県鳩山町視察来庁(たくみの里)
	20(木)	長野県山形村視察来庁(たくみの里) 県議長会役員会(～21、伊香保)

10月	24(月)	広報研修会(～25、東京)
	26(水)	議員研修会(吉岡文化センター) 議会運営委員会 産業観光常任委員会
	27(木)	千葉県勝浦市行政視察
	28(金)	第6回みなかみ町議会10月臨時会 全員協議会 登坂義衛氏祝賀会
	30(日)	農業祭(月夜野支部) 利根沼田勤労者卓球大会
	31(月)	地域別市町村懇談会(川場村)

訂正とお詫び

議会だより第24号9ページ『一般質問(島崎栄一議員)』において、最初の間で『町には猿が二百匹』とあるのは『町には猿が千百匹』の誤りでした。訂正してお詫び申し上げます。

議会だより編集委員会

- ◆委員長 鈴木 勲
- ◆副委員長 阿部 賢一
- ◆委員 小林 洋 内海 敏久
中島 信義 林 一彦

議会を傍聴してみませんか？

◆12月の定例会は、7～16日を予定しております。

—お問い合わせは— 議会事務局まで
☎25-5023(直通)





何とも言わず、どつしりと佇む大樹。あるものは数百年の歴史を刻んでおり、私達はときに畏敬の念を感じ、ときに神秘的な様相を見ることが出来ます。また、由来の解説板があるものは読んでみるのも楽しいものです。町内には名木と言われる木々が数多くありますが、その中からいくつか紹介いたしますので、訪ねてみてはいかがでしょうか。名木の定義について



訪ねてみませんか 町内の名木

阿部利夫（後 閑）

は、巨木、老樹、分布状重要（植物学的）や希少種、民俗的価値のあるもの、例えば伝承・故事来歴との関連や信仰対象・農事習俗に深く関わりのあるもの・記念樹を指します。計測基準も定められています。

まず紹介するのは、相俣の逆さ桜です。樹種はエドヒガンザクラで、県指定の天然記念物の歴史木・老樹です。次に布施沢久保の稲荷神社のうつくし松で、樹種も赤松

の変種ウツクシマツです。似ているタギョウマツとは少し異なり、町指定の民俗木・希少種です。続いては上津の村主の大榲で、樹種はケヤキ、県指定の民俗木・巨木。とにかく大きい。また、下津の小松八幡宮の大杉も町指定の民俗木・巨木です。谷川の富士浅間神社のむれ杉は樹種ムレスギで、町指定の民俗・希少種です。ムレスギは他に二本指定されています。指定はありませんが藤原

の木の根沢にあるぶな太郎。樹種ブナで巨木です。変わり種では、牧野神社や東峰のやまなし、朝日神社のカツパ柳（マルバヤナギ）、玉泉寺の

ジャックウオークが上げられます。詳しくは教育委員会に資料がありますが、見学の注意点として、根元や根が張っている場所を踏まないよう離れて見て下さい。場合によっては、管理者に承諾を得る必要があります。名木は大切にして、後世に残しましょう。



相俣の逆さ桜



谷川のむれ杉



村主の大榲

ふるさとクイズ?

★正解者の中から抽選で3名様にみなかみオリジナルグッズを進呈致します。第1回の出題は、みなかみのスキー場についてです。ぜひご応募ください。

問題

みなかみ町に「スキー場」は、いくつあるでしょう?

Ⓐ. 6 Ⓑ. 8 Ⓒ. 10

応募の
きまり

八ガキに住所・氏名・答えを記入して下記宛にご応募ください。
〒379-1393 群馬県利根郡みなかみ町後閑318
みなかみ町議会事務局 議会だより「ふるさとクイズ」係
締切：平成23年11月30日（当日消印有効）
※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。